

生まれ変わったホームページ 読んで楽しい、運動の情報発信基地に!!

「小さな親切」運動を支えて下さっている方々はもちろん、
「小さな親切」運動を全く知らない方にも楽しんでもらえるホームページを目指して、
職員一同でいろいろなアイディアを出し合っています。
これから徐々にコンテンツを増やしていく予定ですが、ここではそのポイントをご紹介します。

ポイント1

「読み物」として楽しめる コンテンツの充実

「小さな親切」運動スタートから今年で53年。この間に収集した情報や発行した刊行物、歴代職員たちが残した記録の中から、興味を持ってもらえるような読み物を作成しています。例えば「日本人の親切 今・昔」。実行章の受章事由には、時代が反映されたものも多くあります。昭和38年当時の親切は、こんな内容が主流でした。

- とても混み合った銭湯で、困っているおばあさんに座る場所を見つけ、背中を流してあげた
- 重いリヤカーを引いて、坂道で途方に暮れている人を見つけ、後ろから押してあげた
- 下駄の鼻緒が切れて困っていたおばあ

さんに、自分の手ぬぐいを破いて、直してあげた

このように、最近の子どもたちにはちよつとピンとこないけれど、その当時を知っている方には懐かしくほのほのするような内容もたくさんありました。反対に、かつては考えもつかなかったような親切が、現在は主流だったります。

ここでは親切行為の時代による変化を取りあげつつ、根底に流れる温かい気持ちは共通しているということを、多くの方に知っていただきたいと考えています。

長年にわたりデータを蓄積している運動本部だからこそ発信できる、日本人の親切に関する様々なコンテンツを作っていきます。

ポイント2

会員さん以外の ファンを増やす

さらに一般の方、特に若年層や子育て中の主婦層に「小さな親切」運動を知ってもらうための窓口としてのコンテンツも検討中です。

手始めに、誰もが疑問を抱いたり、悩んでいる内容を、脳科学の視点から説き明かしていく連載をスタートしました。回答者は、7ページに登場いただいた

帝京大学医学部・栗田正教授です。疑問・質問は、例えば以下のようなもの。

● 住んでいる国によって、人の脳の使い方は違うの？

● 失恋の痛みから立ち直るには？

● 思春期の子どもの反抗的なのはなぜ？

● 周りはどう対応すればいいの？

● 家族の認知症を予防するために、効果的な方法はあるの？

どうでしょう、皆さんもその答えを知りたくなつてきませんか。

いろいろなキーワードで検索し、このページにたどり着いた方が、ゆくゆくは「小さな親切」運動のファンになってくれれば、と考えています。

ポイント3

参加型ページを 増やしていきます

会員の皆さまや、地域組織の方々から寄せていただいた情報を掲載するページを作ります。

会社の人々で行う清掃活動のレポート、丹精込めたコスモス畑の写真、全国に発信したい地元の美味しいお店の情報などなど、なんでも結構です。ぜひ地域自慢をしてください。何卒ご協力くださいますよう、お願いいたします！

新TOPページ画像
(制作中の画像です。レイアウトは変更になります)